

1 カーボンニュートラル化推進委員会の設立趣旨

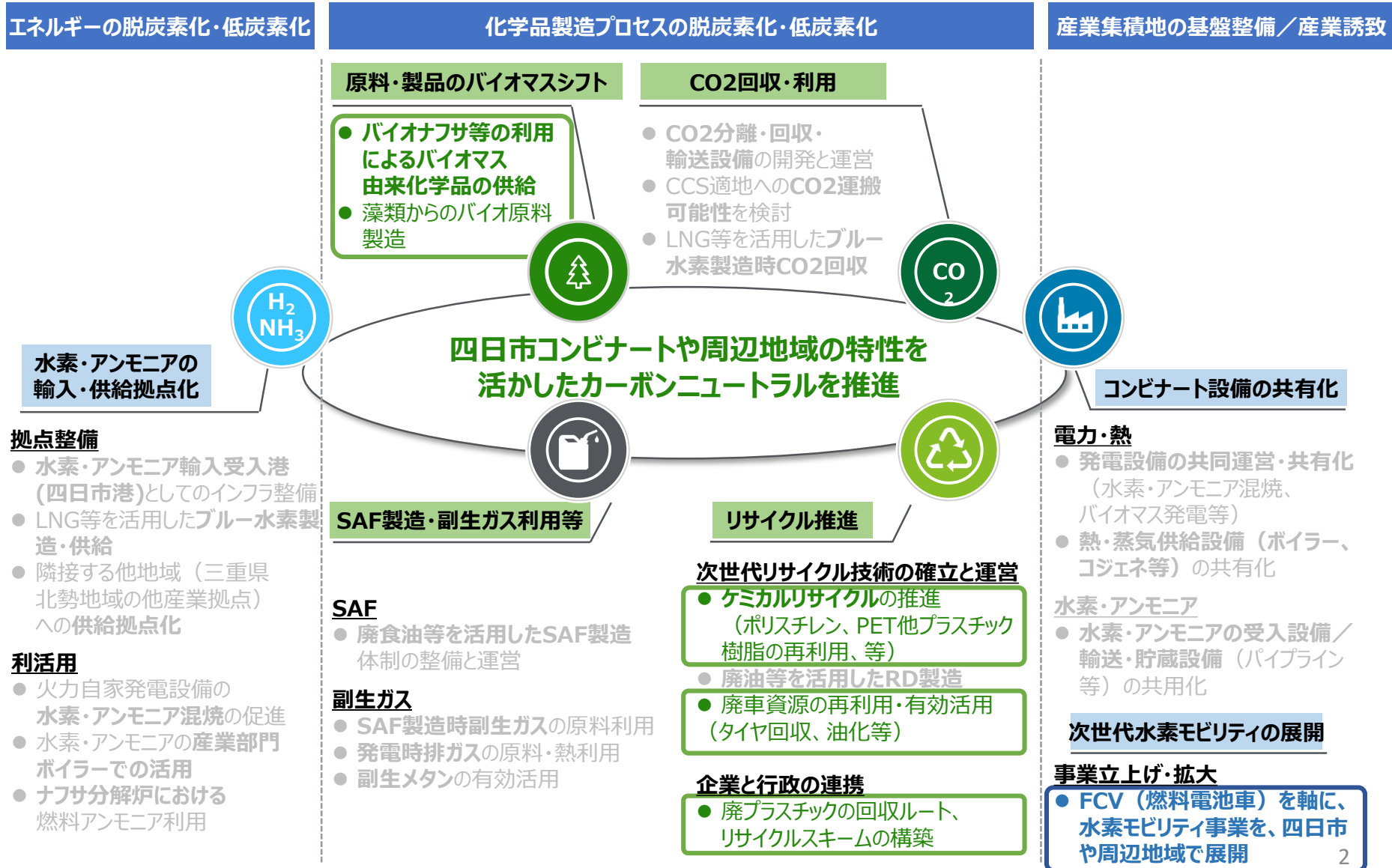
カーボンニュートラル社会における四日市コンビナートの目標

- ① 四日市臨海部のコンビナート地区が本市の産業基盤として永続的に維持・発展していくCN社会の実現に貢献するコンビナートを目指す
- ② これから発生する諸課題の解決に向けて想定される様々な投資を呼び込み、新エネルギーの利活用、CN社会に貢献する素材供給等、新たな産業の芽吹きを生み出す

目標達成に向け

- 令和4年3月に設置した、四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会（以下「CN検討委員会」という。）において、2030年・2050年の四日市コンビナートが目指す将来像について検討が行われ、令和5年3月に2030年・2050年の四日市コンビナートが目指す将来像であるグランドデザインや実現に向けたロードマップ等を公表。
- CN検討委員会の検討結果を踏まえて、カーボンニュートラル社会に貢献するコンビナートを実現するためには、企業間の連携によるプロジェクト創出や企業と行政が連携した実証実験などの新たな取組みを推進する必要があることから、新たに「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」を設置。

リサイクルを中心に一部の取組において、2030年時点で一定の成果が想定される



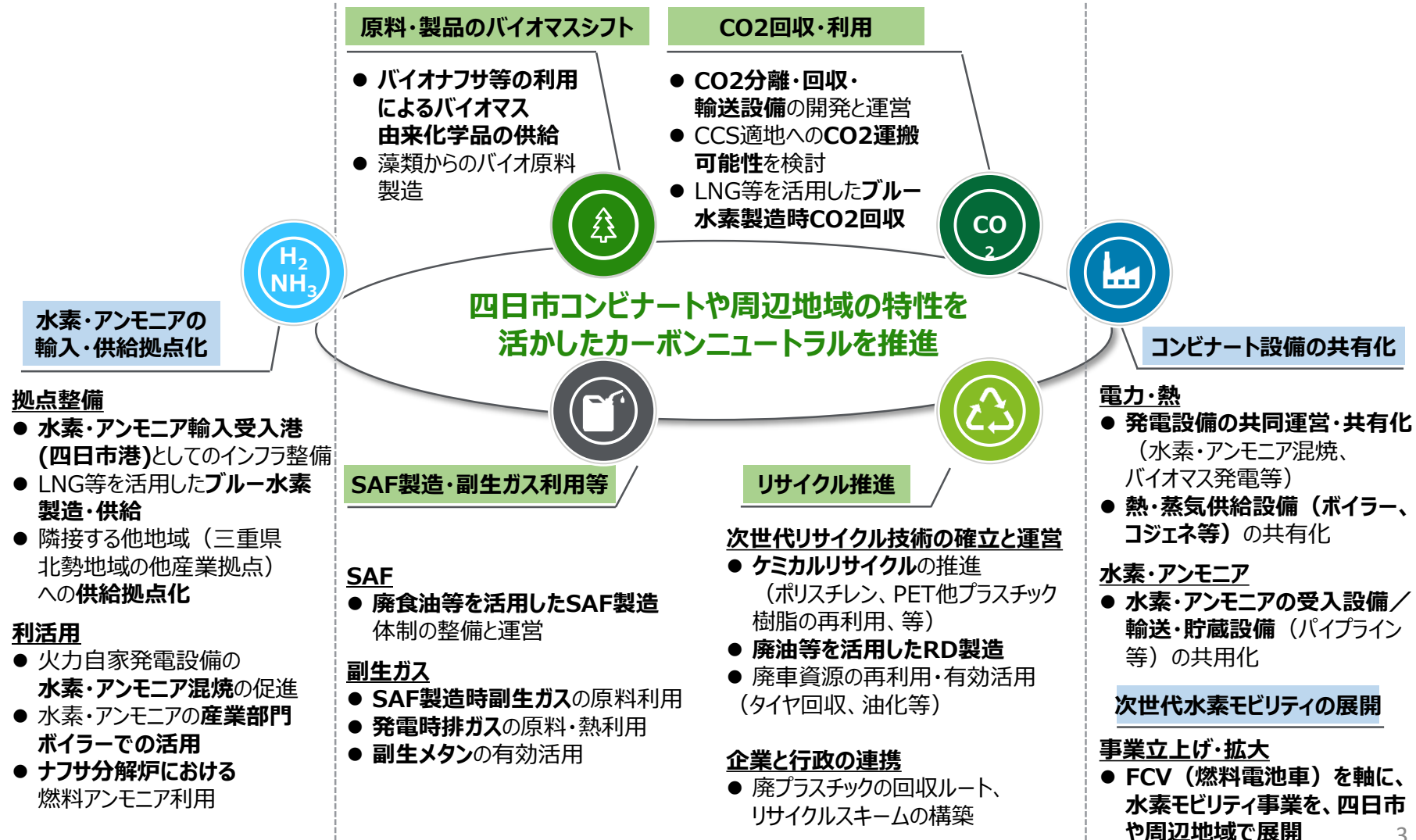
2050年の四日市コンビナートの将来ビジョン(グランドデザイン)

コンビナート及び地域の特性を活かしつつ、カーボンニュートラル施策を広く推進する

エネルギーの脱炭素化・低炭素化

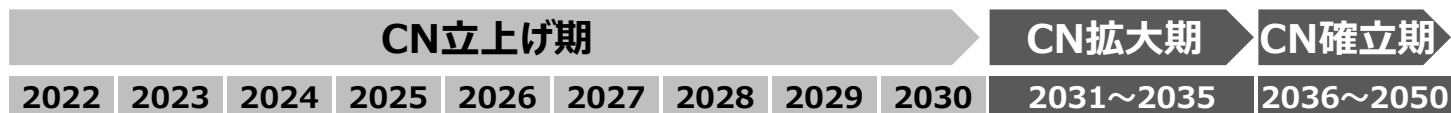
化学品製造プロセスの脱炭素化・低炭素化

産業集積地の基盤整備／産業誘致



推進ロードマップ（1/2）化学品製造プロセスの脱炭素化・低炭素化

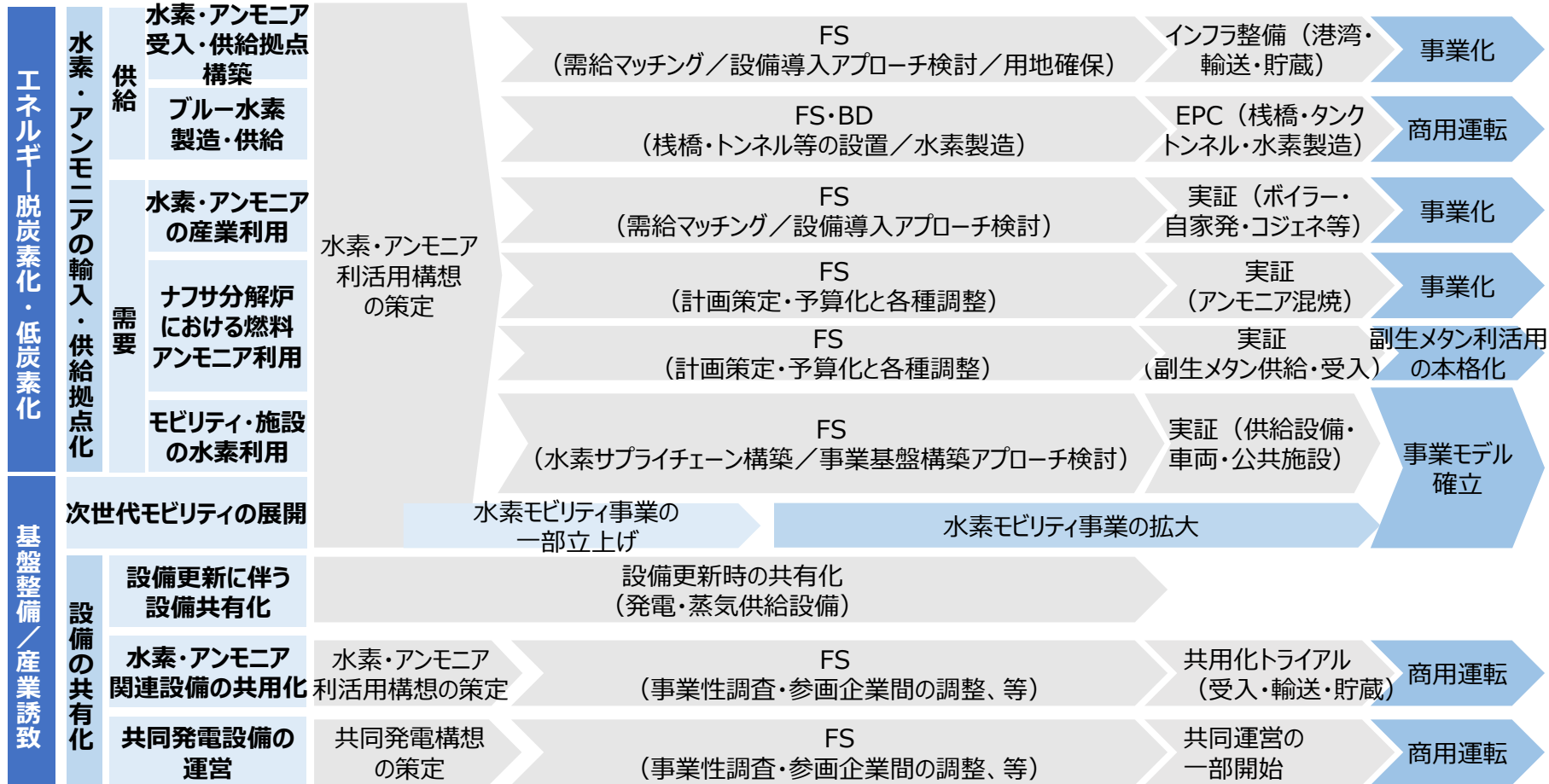
一部リサイクルの立上げ・拡大を先行させつつ、次世代技術開発・実証及び事業化を着実に推進していく



（注：フェーズの位置づけ）「研究開発」⇒ 基礎研究中心 / 「技術実証」⇒ 基礎研究に加え、製造設備の実証や事業性評価等を想定

推進ロードマップ（2/2）エネルギーの脱炭素化・低炭素化／産業集積地の基盤整備・産業

直近2年程度で、水素・アンモニア利活用に関する構想を取りまとめ、コンビナート全体としてのエネルギーシフトを段階的かつ着実に進めていく



2 CN化推進委員会の実施詳細

①取組内容

- CN検討委員会で策定した将来像の具現化に向けた行動として、既存部会及び企業間連携によるFSの推進
- 将来像の具現化に向けた各事業所の取組みの進捗把握や行政の取組み説明等の意見交換の実施
- 既存部会による検討の継続及び新部会の設置並びに他業種との意見交換の実施

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① 生産プロセス部会（既存） | ② 副生ガス利活用検討部会（既存） |
| ③ ケミカルリサイクル連携部会（新） | ④ 水素・アンモニア拠点化検討部会（新） |
| ⑤ 共同インフラ設備連携検討部会（新） | ⑥ 広域・他業種連携部会（新） |
- ※部会担当割：○…四日市市、●…三重県

②スケジュール

活動内容	2023										2024							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
CN化推進委員会				第1回 7/19							第2回 1/16							
生産プロセス部会					← 第4回 開催予定 →													
副生ガス利活用検討部会					← 第3回 開催予定 →													
ケミカルリサイクル連携部会		5/24 合同準備会	第1回 6/30															
水素・アンモニア拠点化検討部会			第1回 6/30															以後各部会 2, 3回開催予定
共同インフラ設備連携検討部会					← 第1回 開催予定 →													
広域・他業種連携部会					← 開催予定 →													6

3 CN化推進委員会でのこれまでの活動（1）

5/24 部会準備会の開催

委員各社に対し、三重県・四日市市より新規4部会の活動趣旨等を説明し、既存2部会についても部会長企業より今年度の活動内容を説明。各部会の概要は以下のとおり。

部会名	活動（議論）内容の想定
生産プロセス部会	(1)ポテンシャルの調査：実現可能な廃食油回収量の把握（民間事業者、行政、一般家庭など） (2)事業用地の確保：遊休地などの活用可能性、四日市港管理地の活用可能性 (3)バイオマス基礎原料の生産実現に向けて： ・地域（三重県、四日市市）におけるサプライチェーンの検討 ・ISCC PLUS認証（マスバランス方式）取得に向けた準備
副生ガス利活用検討部会	エチレンプラント燃料をアンモニアとした場合に余剰となる副生メタンの有効利用を検討 ⇒需給マッチングの精度向上（精製要否、輸送方法）とCO2削減メリットの明確化を図る
ケミカルリサイクル連携部会	(1)食品トレーおよびPET回収スキームの調査検討 (2)企業と行政によるサーキュラーエコノミーに向けた事業構築の検討 (3)廃プラスチックの分別回収スキームの調査検討
水素・アンモニア拠点化検討部会	(1)水素、アンモニア需要量の拡大調査 (2)サプライチェーン構築に向けた水素・アンモニアの供給方法の検討 (3)中部圏（中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議等）との連携
共同インフラ設備連携検討部会	(1)CO2回収スキームの調査検討 (2)電力・蒸気の供給に係る設備配置を想定した検討 (3)事業用地確保に向けた検討【(1)(2)の実行にあたっての検討事項】
広域・他業種連携部会	(1)他業種の企業等との意見交換（ヒアリング） (2)他業種の企業等とのマッチング (3)事業化に向けた可能性調査の開始

4 CN化推進委員会でのこれまでの活動（2）

① 部会参加企業一覧

生産プロセス部会

味の素株式会社
出光興産株式会社
株式会社ENEOSマテリアル
昭和四日市石油株式会社
東ソー株式会社
三菱ケミカル株式会社
三菱商事株式会社

副生ガス利活用検討部会

出光興産株式会社
KHネオケム株式会社
昭和四日市石油株式会社
東ソー株式会社
東邦ガス株式会社
日本エア・リキード合同会社

水素・アンモニア拠点化検討部会

味の素株式会社
株式会社ENEOSマテリアル
コスモ石油株式会社
昭和四日市石油株式会社
東ソー株式会社
日本エア・リキード合同会社
三菱商事株式会社
石原産業株式会社
KHネオケム株式会社
株式会社JERA
DIC株式会社
東邦ガス株式会社
三菱ケミカル株式会社

広域・他業種連携部会

JSR株式会社
昭和四日市石油株式会社
第一工業製薬株式会社
DIC株式会社
東ソー株式会社
三菱ケミカル株式会社

ケミカルリサイクル連携部会

株式会社ENEOSマテリアル
DIC株式会社
東ソー株式会社
三菱ケミカル株式会社

共同インフラ設備連携検討部会

石原産業株式会社
高純度シリコン株式会社
昭和四日市石油株式会社
東ソー株式会社
日本アエロジル株式会社
三菱商事株式会社

② 個別部会の開催状況

第1回 ケミカルリサイクル連携部会（6/30）

- 各社のリサイクル取組状況を共有し、原料回収スキーム構築に向けてクリアすべき課題や連携のポイント等を協議した

第1回 水素・アンモニア拠点化検討部会（6/30）

- 各社の取組状況や水素・アンモニア利活用に対する認識を共有し、需要見通しの検討における前提について協議した